

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 6 月 11 日 (2015.6.11)

【公表番号】特表 2014-515677 (P2014-515677A)  
 【公表日】平成 26 年 7 月 3 日 (2014.7.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-035  
 【出願番号】特願 2014-506878 (P2014-506878)  
 【国際特許分類】

A 6 1 M 5/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/34

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 6】

ロックアウトばね 2 6 0 0 は、近位端 2 6 1 0 近くに、第 1 のばねアーム 2 6 3 0 および第 2 のばねアーム 2 6 4 0 を備える。例えば、第 1 のばねアーム 2 6 3 0 は、ばね 2 6 0 0 の第 1 の枢動点 2 6 3 2 から近位に延びる。同様に、第 2 のばねアーム 2 6 4 0 は、ばね 2 6 0 0 の第 2 の枢動点 2 6 4 2 から近位に延びる。図 1 8 に示す初期ばね位置では、第 1 および第 2 のばねアーム 2 6 3 0、2 6 4 0 が応力のかかっていない状態にある。すなわち、両アームが半径方向外側に曲がり、第 1 および第 2 のばねアーム 2 6 3 0、2 6 4 0 間に形成される口の初期距離 D M 1 2 6 4 4 を画成する離間量だけ互いから離れる。以下で詳細に説明するように、ばね 2 6 0 0 が応力状態にある（再取付けを防止するばねをロックアウトするように）とき、第 1 および第 2 のばねアーム 2 6 3 0、2 6 4 0 が、第 1 および第 2 の枢動点 2 6 3 2、2 6 4 2 でそれぞれ互いに向かって曲がる。この曲がりにより、アーム 2 6 3 0、2 6 4 0 の口の初期距離 D M 1 が、第 2 の口の距離 D M 2 よりも小さくなる。